

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第10回名立区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 1 報告事項（公開）

（1）地域独自の予算の事業一覧について

### 2 協議事項

（1）ろばた館利活用推進会議（仮称）について

### 3 その他事項（公開）

## 3 開催日時

令和5年2月28日（火）午後6時30分から午後7時40分まで

## 4 開催場所

名立地区公民館 第1・2会議室

## 5 傍聴人の数

0名

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：小林晴子、大門廣文、高宮秀博、徳田幸一、中野祐、二宮香里、畑芳雄、  
原田秀樹、三浦元二
- ・ 事 務 局：桐木所長、山田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、沢田市民生活・  
福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、石崎地域振興班長
- ・ 農村振興課：佐藤課長、廣田副課長

## 8 発言の内容

### 【石崎班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【原田会長】

- ・草間照光委員の死去に伴い、黙とうを捧げる。

【出席者全員】

- ・黙とう

【原田会長】

- ・挨拶
- ・桐木所長に挨拶を求める。

【桐木所長】

- ・挨拶

【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【石崎班長】

- ・会議録の確認者：小林委員、大門委員
- ・配布した資料の確認

【原田会長】

- ・報告事項（１）地域独自の予算の事業一覧について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・資料No.1 について説明

【原田会長】

- ・報告事項ではあるが、皆さんの方でご意見、ご質問等はあるか。

【三浦委員】

- ・資料No.1 の地域自治区別事業一覧表に担当課と記載されているが、予算は総合事務所が要求していると聞いていたが、担当課の意見を踏まえないといけないということか。
- ・今後事業展開していく際、私たちはどこを相手に事業を進めていけばいいのか。
- ・基本的な考え方と今後の実務的なことも含めて聞かせていただきたい。

【石崎班長】

- ・おっしゃるとおり、地域独自の予算は総合事務所が予算要求している。

- ・議会で審議していただくにあたり、事業内容に沿った委員会で審議していただけるよう、事業を各課に割り振っている。
- ・事業の性質にもよるが、担当課についての予算は基本的には総合事務所に配当替えされ、総合事務所で執行していくことになる。

**【三浦委員】**

- ・議会で審査をする都合上、担当課と記載してあるとしか聞こえない。
- ・そもそも地域独自の予算を考える前に、地域活性化の方向性をみんなで考え、こういう地域を作っていこうと決め、そのためにはこういう事業に取り組んでいかなければならないと事業を挙げてきた。
- ・しかし審査するときはバラバラにするとなると、名立区をどうするかという概念から外れてしまう。
- ・事業を一緒にやっていく相手や相談は総合事務所になるのか、担当課になるのか。

**【桐木所長】**

- ・名立区で挙げた事業のため、名立区総合事務所に相談していただく。
- ・委員会で事業を精査するときに、担当の委員会でないと精査できないということから各課の予算に計上したということだ。

**【原田会長】**

- ・地域としての一体感という部分からすると、項目別にすることで分かりにくくなる部分がある。

**【桐木所長】**

- ・区ごとの件数と予算額を一覧表で見せるという形で整理したところである。

**【三浦委員】**

- ・時間をかけて議論して作ったのに、結局分解されてしまえば意味がない。背景が分からない中で何を審査するのか。
- ・事業実施の際は基本的には総合事務所へ相談をするという認識でよろしいか。

**【桐木所長】**

- ・構わない。

**【原田会長】**

- ・他にご意見ご質問等はあるか。

**【徳田委員】**

- ・地域自治区別事業一覧表の「中山間地域再生可能エネルギー導入先行研究事業」は突然出てきたように感じるが、名立区再生可能エネルギー研究会はすでにあるのか、これから立ち上げるのか。
- ・また、「名立区農山村活性化対策事業」というのも馴染みがないため、もう一度具体的に説明してほしい。

**【石崎班長】**

- ・「中山間地域再生可能エネルギー導入先行研究事業」と「名立区農山村活性化対策事業」は、ともに予算要求する事業として9月に説明させていただいており、新たに追加されたものではない。
- ・「中山間地域再生可能エネルギー導入先行研究事業」は、小水力発電導入を検討するため研究していくという事業で、名立区再生可能エネルギー研究会はこれから立ち上げるものである。
- ・「名立区農山村活性化対策事業」は、ろばた館を会場とし、そばを中心とした地域活性化イベント、いわゆる「そばまつり」を実施していくという内容の事業である。

**【徳田委員】**

- ・承知した。

**【原田会長】**

- ・他にご意見、ご質問等はあるか。

**【三浦委員】**

- ・答えられる範囲でよいが、事業のスケジュールの流れを教えてください。
- ・「名立駅マイ・ステーション作戦事業」と「いきいきサロン運営事業」は、ともに4月から活動開始する予定だ。
- ・従来の地域活動支援事業は、地域協議会の審査があり、その後補助金申請をし、交付決定、補助金交付という流れだった。

**【石崎班長】**

- ・現在、自治・地域振興課で制度の要綱を作成している。
- ・皆さんの事業実施に間に合うよう作成されると思うが、ただいま作成中であるため、その後の流れというのは分からない。

【桐木所長】

- ・従来通りならば、補助金の交付申請をしてもらい、市が交付決定をして、事業が動き出すという流れになる。
- ・例えば、「名立駅マイ・ステーション作戦事業」を4月から行うのであれば、4月3日、4日に交付申請を出していただき、即日に近い形で交付決定を出す形になる。
- ・しかし、まだ要綱が作られていないため、我々の中でもどうなるか分からない。
- ・市の事業のため、交付申請、交付決定、交付額の確定という流れになる。

【原田会長】

- ・他にご意見、ご質問等はあるか。

【二宮委員】

- ・「子どもたちの平和学習推進事業」で、今まで名立の子どもを守り育む会がやっていたことを市がやるということだが、今までと変わってしまうのか。
- ・実際にやるのは市で、名立の子どもを守り育む会は関わらないのか。

【沢田グループ長】

- ・名立の子どもを守り育む会では、平和学習を強化したいという思いがあったが、会の予算が少なく苦慮していたため、今回予算要求したものである。事業の委託先は名立の子どもを守り育む会を考えている。
- ・平和学習はとても大切な事業なため、外にも発信していきたい。

【原田会長】

- ・他にあるか。

【三浦委員】

- ・名立区で提案した「坂本弁護士慰霊碑保全事業」は、地域独自の予算から外れて総合事務所長所管の予算でという話だが、外れた理由を明確にしてほしい。

【桐木所長】

- ・財政査定において、草刈りをする土地が私有地ということで、市が草刈りをする必要はないとの回答であった。
- ・ただ、草刈りをする必要があるということであれば、総合事務所長がわずかに預かっている予算があるので、その予算から出してよいということになった。

【三浦委員】

- ・地域独自の予算で、地域の方々がどういう地域を作りたいか考えてほしいと言われ、考え、提案し、その結果が市の土地ではないから市が草刈りする必要はないというのはおかしい。なんのための地域独自の予算なのか。理解しがたい。

**【原田会長】**

- ・皆さんも違和感を感じていることはあると思うが、私自身も感じている。私たちが当初予想した形とは違っている。
- ・区によっては、過去に補助金で出されていた事業が別の形で提案されている事業もある。
- ・初めての事業で、これから議会にかかるため、感想だけで物事を言うてはならないが不満はある。私たちが一緒に見ていかなければならない。
- ・他に皆さんよろしいか。

**【三浦委員】**

- ・地域自治区別事業一覧表で提案団体という欄があるが、名立区は提案団体が記載されていない。他の地区には提案団体が記載されているところもある。
- ・この提案団体というのはどういう意味合いか。

**【石崎班長】**

- ・資料No.1の表の一番上に「提案団体が実施主体と同一の場合は、「提案団体」欄に「－」を記載している」という記載があるが、そのように表を整理させてもらっている。

**【三浦委員】**

- ・わざわざ注釈をかけてまで「－」を記載するのか。提案団体名を書いた方が分かりやすいのではないか。

**【原田会長】**

- ・実施主体と提案団体が同一の事業の方がはるかに数が多いため、こういう記載になったのではないかと推察する。
- ・他に皆さんよろしいか。

**【各委員】**

- ・意見及び質問等なし

**【原田会長】**

- ・協議事項（1）ろばた館利活用推進会議（仮称）について、に入る。

- ・資料No.2 について説明
- ・資料では3月中に開催と書かせていただいたが、これから決算期にあたり、私も含め、地域で色々役をやられている皆さんや各団体もお忙しいと思うので、これは厳しいと思っている。
- ・皆さんの方で、ご意見ご質問等はあるか。

**【中野委員】**

- ・資料No.1の「名立区農山村活性化対策事業」の中に、ろばた館利活用推進会議（仮称）の話は含まれていないのか。

**【原田会長】**

- ・ろばた館利活用推進会議（仮称）は、これから立ち上げていくことを検討している会議で、予算要求済みの「名立区農山村活性化対策事業」とは異なる。

**【中野委員】**

- ・承知した。

**【原田会長】**

- ・他にご意見ご質問等はあるか。

**【二宮委員】**

- ・会議はどのくらいの時間帯に開催することを考えているか。

**【原田会長】**

- ・今のところ、日中の開催を考えている。
- ・地域協議会だけでは実行できないので、実施主体として実行できる方々が集まる会であれば、それが一番よいと考えている。

**【高宮副会長】**

- ・ろばた館利活用推進会議（仮称）で案が出されて、事業としてまとめていければ、地域独自の予算の中に組み入れていくという考えでよいか。

**【原田会長】**

- ・そのような考えでいる。

**【三浦委員】**

- ・構成団体についてだが、地域づくりの団体に名立まちづくり協議会、上名立地区振興協議会、輝く里不動の会とあるが、ろばた館の利活用は名立区全体で考えていか

なければならないことなので、下名立地区と北部地区の振興協議会も加わるべきだ  
と思う。

- ・名立区全体という意味で考えると、町内会長協議会もある。
- ・資料No.2に記載されているように「名立区における地域活性化」と考えるのであれば、名立区全体で話を進めるべきである。
- ・また、構成団体の欄には地域協議会の記載がない。目的のところには「名立区地域協議会と協力しつつ」とあるが、私は地域協議会もこの仲間に入らなければならないと思う。
- ・生の声を聞きながら、それを持ち帰って、地域協議会の役割やスタンスを議論する必要がある。
- ・協力ということではなく、具体的に取り組んでいくという意識を持っていないと実効性という面では難しいのではないか。
- ・前回、市の担当課にもお話したが、市はどのような考え方を持って地域活性化を進めていこうと思っているのかが見えてこない。
- ・構成団体は地域の団体だけであり、総合事務所を含む行政、上越市の名前がない。地域だけで会議を開き、こうしようという話をしていても実効性としては劣る。
- ・ろばた館利活用推進会議（仮称）の創設について、市の関わりはどう考えているのか。
- ・もう一点。ろばた館の管理業務委託先の㈱ゆめ企画名立が入っていない。
- ・委託を受けている立場として、ろばた館の利活用をどう考えているのか、委託先が構成団体にはないのはピースが欠ける。
- ・廃止の期限が設定されて、期限を見据えながら活性化策を考えていこうとなったときに、関係者が一同に会するという形が、この会議の一番の意味合いだと私は思う。

#### 【原田会長】

- ・三浦委員の意見も取り入れた上で検討したい。
- ・行政サイドについては、総合事務所と相談させていただきたい。
- ・ちなみに㈱ゆめ企画名立の社長とお話したときに、もしこのような会議が開かれるのであれば参加していただけるということになっている。

#### 【三浦委員】

- ・前回の地域協議会で廃止の期日が提示されたが、どういうスケジュールでろばた館利活用推進会議（仮称）を行うのか。
- ・温浴及び食堂機能の廃止以降の利活用を考えているのか、それともそれを待たずに今からできることをやっ払いこうと考えているのか。
- ・これからの検討になると思うが、大きなポイントになると思う。

#### 【原田会長】

- ・温浴と食堂機能の廃止の期日は決められているため、そこに向かってできることをやっ払いいくつもりだ。
- ・ただ単に温浴と食堂機能を廃止すれば維持管理費が安くなるかと言われれば、そうでもない。
- ・ろばた館でそば屋を出店できないかという人もいた。地元の中でもそのようなお話があれば、受け入れられるような体制も考えて、お話させてもらいたい。
- ・他にご意見等あるか。

#### 【畑委員】

- ・団体区分ごとに会議を開くと、販売団体や文化・活動団体は団体数が少ないため、他の団体と混ざって会議をした方がいいのではないか。

#### 【原田会長】

- ・お声がけする団体については幅広く、他の関係者にもお声がけし、名立区全体で話し合いができるようにしたい。
- ・進めていく中で、団体区分ごとに行うのか、全体で行うのか考えていきたい。
- ・地域協議会の皆さんにも会議に出席してほしいという案内になると思う。
- ・他にご意見ご質問等はあるか。

#### 【各委員】

- ・意見及び質問等なし

#### 【桐木所長】

- ・推進会議の構成団体について、もう一度原田会長とお話させていただきたい。
- ・実際の推進会議の進め方は、確かに難しいものがある。大きくなればなるほど難しく、イメージをすり合わせてやっ払いいく必要がある。
- ・時期的に3月中の開催は確かに難しい部分がある。

#### 【原田会長】

- ・いろいろな方々に参加してもらおうとすれば、きちんとした形で臨みたい。
- ・会議は年度を超すかもしれないが、ある程度骨組みができてからお声がけしたい。
- ・骨組みができた時点で、委員の皆さんにもお見せしたい。
- ・その他事項、皆さんの方で何かあるか。

#### 【徳田委員】

- ・以前、風力発電を設置したいという話が事業者から1回あったが、4月の町内会長会議でその後の進捗状況を説明していただきたい。

#### 【桐木所長】

- ・風力発電の話は民間事業者が進めている事業であり、相手方の都合もあるため、ここで承諾の返事はできないが、事業者側に意向は伝えておく。

#### 【原田会長】

- ・他によろしいか。

#### 【各委員】

- ・意見及び質問等なし

#### 【石崎班長】

- ・次回の開催日程は決まり次第、委員の皆さんに連絡する。

#### 【高宮副会長】

- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121 (内線 5504)

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。